

知れば **知** るほど いいね!

軽自動車

普通の暮らしに
使いやすくて
いいね!

女性や高齢者も
乗りやすくて
いいね!

省エネ・省資源で
いいね!



 **SUZUKI**

 **SUBARU**

 **DAIHATSU**

TOYOTA

NISSAN

HONDA

 **mazda**

 **MITSUBISHI
MOTORS**

 **jama**
Japan Automobile Manufacturers Association

一般社団法人 日本自動車工業会



一般社団法人 全国軽自動車協会連合会

軽自動車が高い支持を集める理由。 それは、すぐれた使いやすさと経済性、環境へのやさしさ。



いまや日本国内で保有されるクルマの約4割を占めるほど、社会にしっかりと根づいている軽自動車。1949年に規格が制定されて以来、実用性にすぐれた乗り物として日本になくってはならない存在です。

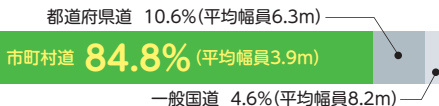
コンパクトだから使いやすい

コンパクトで狭い道も快適!

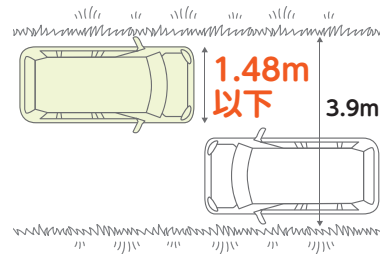
日本の道路の約85%は、道幅平均3.9m*の狭い市町村道。車幅1.48m以下の小さい軽自動車なら、市街地の路地や農道もスムーズに。対向車とのすれ違いも安心です。

*一般道路全体の平均幅員は4.4m

一般道路に占める市町村道の割合



資料:2022年3月31日現在、「道路統計年報2023」国土交通省 ※幅員は車道部のみ



駐車もらくらくスムーズ!

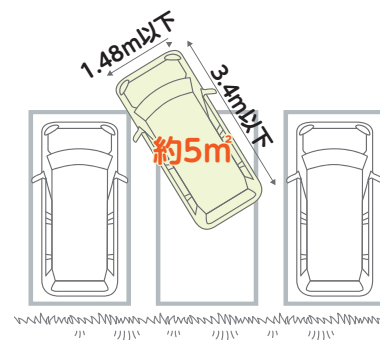
軽自動車の最小回転半径は平均4.5m*。小回りがきくので、わずかなスペースでの駐車もらくにできます。また専有面積約5m²の省スペース性は、渋滞の緩和にもひと役かっています。

*「自動車ガイドブック vol.70 2023~2024」日本自動車工業会のカタログに記載された軽乗用車の平均値

軽自動車の選択理由

使いやすさ	(複数回答)		
	運転がしやすい	狭い道で使いやすい	駐車しやすい
軽乗用系	69%	43%	34%
軽キャブバン	32%	41%	10%
軽トラック	58%	64%	13%

資料:「2023年度 軽自動車の使用実態調査報告書」2024年3月 日本自動車工業会



経済的だからうれしい

燃費、価格、税金にメリット

軽自動車の選択理由

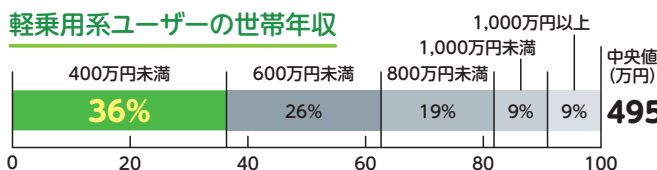
経済性

(複数回答)	燃費が良い	価格が安い	税金が安い
軽乗用系	44%	45%	62%
軽キャブバン	30%	35%	38%
軽トラック	30%	37%	51%

資料:「2023年度 軽自動車の使用実態調査報告書」2024年3月 日本自動車工業会

軽乗用系ユーザーの36%は、 世帯年収「400万円未満」

軽乗用系ユーザーの世帯年収



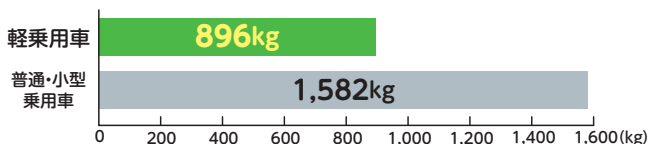
資料:「2023年度 軽自動車の使用実態調査報告書」2024年3月 日本自動車工業会

省資源・省エネルギーに貢献

軽乗用車の重量は 普通・小型乗用車の約6割

小さく軽い車体で排気量もコンパクト!

車両重量



資料:車両重量は「自動車燃費一覧 令和6年3月」(国土交通省)に掲載されたガソリン乗用車の車両重量中の中間値を平均したもの(国産車のみ)

軽乗用車の道路損傷度は 普通・小型乗用車の約1/10

道路にもやさしく

道路損傷度

	軽乗用車	普通・小型乗用車
車両重量	896kg	1,582kg
重量比	0.57	1
道路損傷度	0.1	1

資料:車両重量は「自動車燃費一覧 令和6年3月」(国土交通省)に掲載されたガソリン乗用車の車両重量中の中間値を平均したもの(国産車のみ)
※道路損傷度は軸荷重の4乗に比例する(「舗装設計施工指針」日本道路協会)

軽自動車を地方で多く見かける理由。 それは、公共交通機関に代わる大切な足だから。

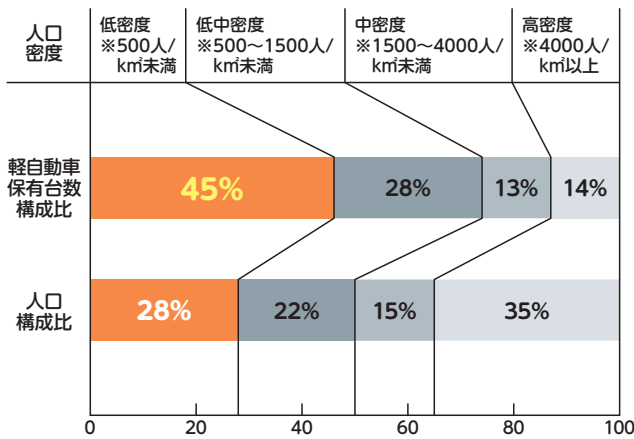


人口構成比が3割に過ぎない人口密度500人/km²未満の市町村で、全国の軽自動車の半数近くが保有されています。また、軽自動車の普及率は公共交通機関が利用しにくい地域ほど高く、移動手段として不可欠であることがわかります。

地方の大切な移動手段

軽自動車の**約半数**が
低密度地域で保有されている

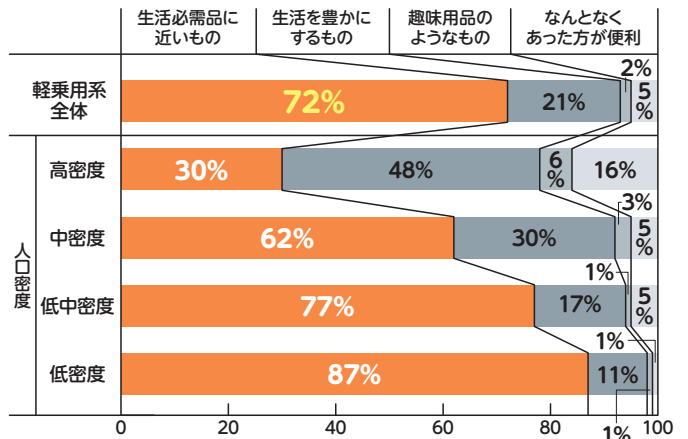
軽自動車保有台数の人口密度別構成比



資料:「2023年度 軽自動車の使用実態調査報告書」2024年3月 日本自動車工業会

軽乗用系ユーザーの**72%**が
「軽は生活必需品に近い」と回答

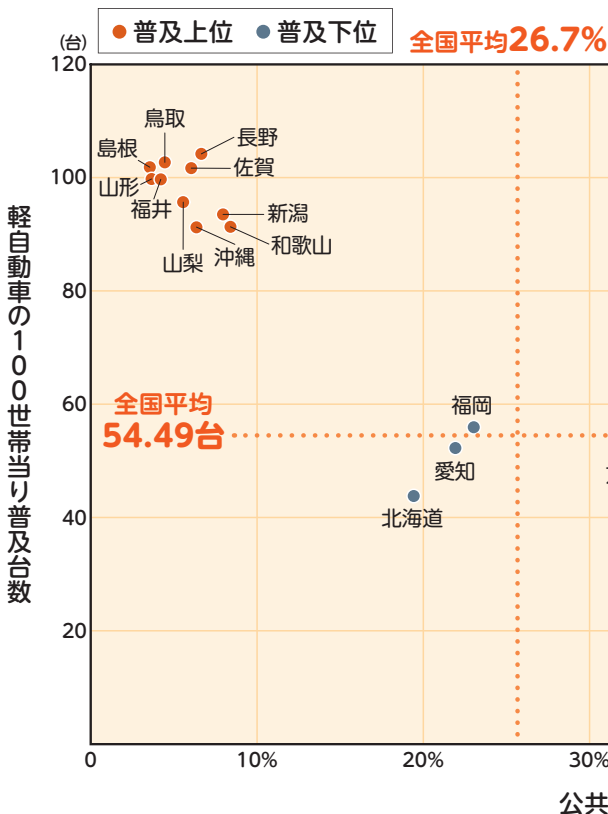
軽自動車の役割



資料:「2023年度 軽自動車の使用実態調査報告書」2024年3月 日本自動車工業会

軽自動車の普及率は公共交通機関が利用しにくい地域ほど高い

軽自動車の普及と公共交通機関利用率の関係



軽自動車普及上位 100世帯当り普及台数		軽自動車普及下位 100世帯当り普及台数	
1	長野 104.19台	1	東京 12.16台
2	鳥取 102.69台	2	神奈川 23.73台
3	島根 101.83台	3	大阪 28.08台
4	佐賀 101.67台	4	千葉 42.13台
5	山形 99.75台	5	埼玉 42.28台
6	福井 99.69台	6	京都 43.65台
7	山梨 95.67台	7	北海道 43.79台
8	新潟 93.50台	8	兵庫 44.04台
9	和歌山 91.31台	9	愛知 52.28台
10	沖縄 91.22台	10	福岡 55.95台
平均	97.50台	平均	34.09台

※100世帯当り普及台数の全国平均は、54.49台

資料:100世帯当り普及台数は令和5年12月末現在、全国軽自動車協会連合会調べ
公共交通機関利用率は「令和2年国勢調査 従業地・通学地による人口・就業状態等集計」(総務省)を基に算出

軽自動車をよく利用している人で圧倒的に多いのは女性ユーザー。高齢者からの支持も高い。

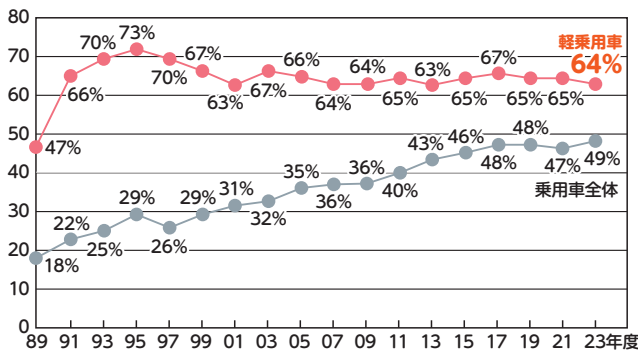


軽自動車の女性ユーザーを見ると、すべての年代で就業率が高く、まさに働く女性を助けるクルマと言えます。さらに、高齢者ユーザーが4割を超えており、「買い替えるならつぎも軽自動車」と強く支持されています。

女性にとって頼れる味方

軽乗用車ユーザーのうち
64%は女性

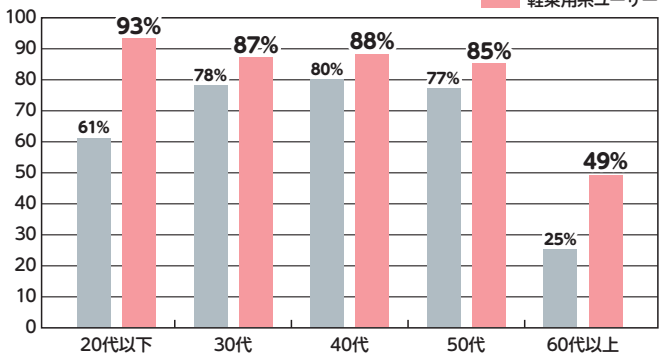
女性ユーザー比率の推移



資料:軽乗用車「2023年度 軽自動車の使用実態調査報告書」2024年3月 日本自動車工業会
乗用車全体「2023年度 乗用車市場動向調査」2024年3月 日本自動車工業会
(乗用車全体には軽乗用車も含む)
※05年度より軽乗用車に軽キャブワゴンを含む

女性軽乗用系ユーザーの就業率は、
すべての年代で高い

年代別に見た女性の就業率

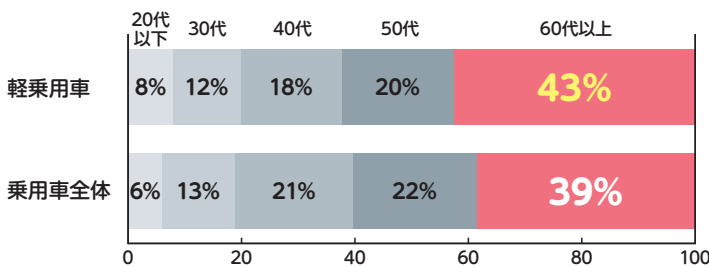


資料:「令和4年 労働力調査年報」総務省統計局
軽乗用車「2023年度 軽自動車の使用実態調査報告書」2024年3月 日本自動車工業会
※軽乗用系ユーザー:20~29歳 一般女性:15~29歳

高齢者からの高い支持

軽乗用車ユーザーのうち
43%は60歳以上

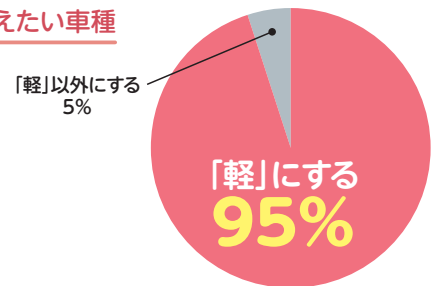
ユーザーの年齢



資料:軽乗用車「2023年度 軽自動車の使用実態調査報告書」2024年3月 日本自動車工業会
乗用車全体「2023年度 乗用車市場動向調査」2024年3月 日本自動車工業会
(乗用車全体には軽乗用車も含む)

高齢軽乗用車ユーザーの
95%が「次に関り替えるなら軽」と回答

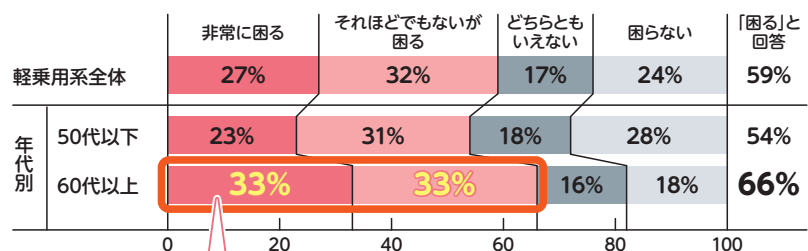
次に関り替いたい車種



資料:「2023年度 軽自動車の使用実態調査報告書」2024年3月 日本自動車工業会

高齢軽乗用系ユーザーの
66%が、「困る」と回答

軽乗用系ユーザーの軽より大きい車しか
使えなくなった場合の困窮度



資料:「2023年度 軽自動車の使用実態調査報告書」
2024年3月 日本自動車工業会

「困る」理由 (複数回答)
・生活費が圧迫される(48%)
・経済的な負担が増すので車を持つことができなくなる(43%)
・狭い道があるなど、道路条件の関係で行けない場所が出てくる(36%)

軽自動車は、毎日の買い物はもちろん、通勤・通学、配送業務から農作業でも幅広く活躍。

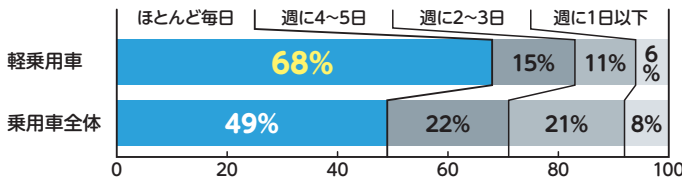


日常生活から個人商店や町工場、農家での仕事まで、軽自動車はフットワークの良さを発揮しています。また、軽自動車の保有世帯のうち、約7割が他にもクルマを持っており、日常のパーソナルカーとしての役割を担っています。

いつでもどこでも手軽に利用

68%のユーザーがほとんど毎日使用

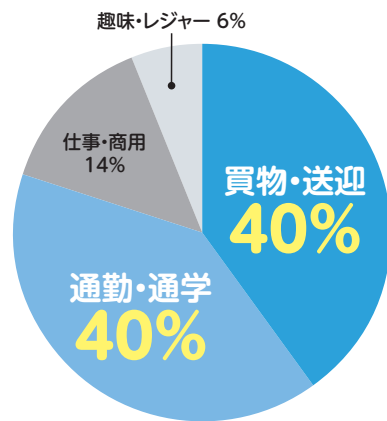
軽乗用車ユーザーの使用頻度



資料:軽乗用車[2023年度 軽自動車の使用実態調査報告書]2024年3月 日本自動車工業会
乗用車全体[2023年度 乗用車市場動向調査]2024年3月 日本自動車工業会(乗用車全体には軽乗用車も含む)

80%のユーザーが「買物・送迎」「通勤・通学」に使用

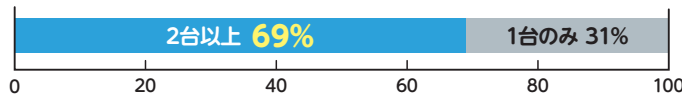
軽乗用系ユーザーの主な用途



資料:[2023年度 軽自動車の使用実態調査報告書]2024年3月 日本自動車工業会

69%の世帯が他にもクルマを保有

軽乗用系保有世帯での複数保有率



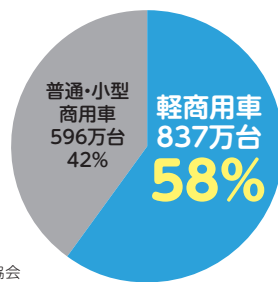
資料:[2023年度 軽自動車の使用実態調査報告書]2024年3月 日本自動車工業会

仕事や商売の良きパートナー

全商用車のうち

58%は
軽自動車

軽商用車の保有台数比率



資料:2024年3月末現在、「自動車保有車両数」自動車検査登録情報協会

軽商用車の主な用途

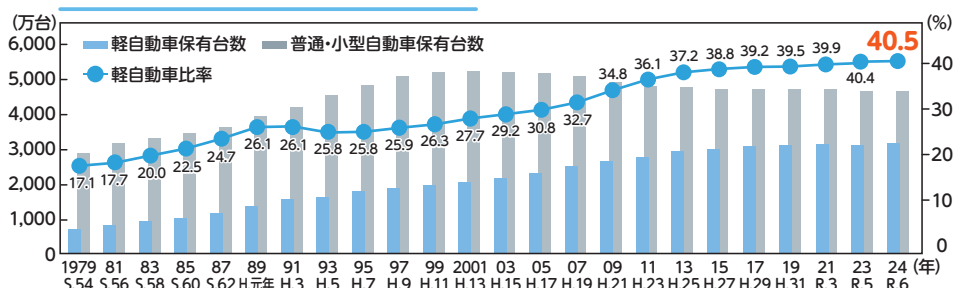
(複数回答)	仕入れ・納入	仕事の道具の運搬	配達	田畑への往復・農作物の運搬
軽キャブバン	34%	24%	20%	9%
軽トラック	18%	38%	10%	51%

資料:[2023年度 軽自動車の使用実態調査報告書]2024年3月 日本自動車工業会

毎日の暮らしから、クルマ社会の未来まで。ますます高まる軽自動車の必要性。

軽自動車の保有台数は3,000万台以上。これは、自動車の総保有台数の約4割を占めることとなります。毎日の暮らしや仕事はもちろん、より良い環境づくりやクルマ社会の未来に向けて。軽自動車は、かけがえのない存在として貢献していきます。

自動車保有台数・軽自動車比率の推移



資料:各年3月末現在、「自動車保有車両数」自動車検査登録情報協会

軽自動車は地域の活性化に大きく貢献しています。



軽トラックの荷台に食品や地元の特産品、雑貨などの商品を陳列し販売する市、通称「軽トラ市」が全国で開催されています。軽トラ市は全国で100を超える地域*で開催され、街が賑やかになることで、地元商店の売上の向上や、地域住民の笑顔につながっています。

※日本自動車工業会調べ 2023年8月

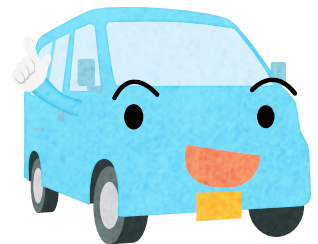
全国に広がる「軽トラ市」

「軽トラ市」は全国100か所以上で定期的開催。毎回、多くのお客さんが集い、賑わいます。

新鮮な野菜や地元の名産品などを販売!



軽トラック以外にもいろいろな軽自動車が活躍しています!!



日本三大「軽トラ市」

岩手県

元祖しずくいし
軽トラ市



岩手県雫石町

- 開催日: 5月~11月(第1日曜)
- 主催者: しずくいし軽トラ市実行委員会 (雫石商工会)
- 規模: 約60台

愛知県

しんしろ軽トラ市
のんほいロット



愛知県新城市

- 開催日: 毎月(第4日曜)
- 主催者: のんほいロット実行委員会 (新城市商工会)
- 規模: 約75台

宮崎県

「定期朝市」
トントロン軽トラ市



宮崎県川南町

- 開催日: 毎月(第4日曜)
- 主催者: まちづくりトントロンTMO (川南町商工会)
- 規模: 約130台

全国の「軽トラ市」の開催情報は
こちらからご確認いただけます

▶ <https://k-truck.jama.or.jp/>



軽自動車は、さまざまなシーンで活躍。 日本のみならず、海外での技術活用も広がっています。



軽自動車は福祉車両としても活躍

福祉車両の販売台数は増加傾向にあり、バスを除く福祉車両の販売における軽自動車比率は約4割を占める状況にあります。
福祉車両に限らず、コンパクトで運転しやすい軽自動車は訪問介護や訪問看護の現場で大活躍しています。



軽自動車は災害現場でも活躍

軽自動車はコンパクトで運転しやすく、道幅の狭い災害現場でも通行しやすいという特徴から、多くの災害現場で活躍をしています。
軽自動車は被災された方々の移動手段として利用される他、軽トラックなどの軽商用車は災害廃棄物の撤去や移動販売車などの活用により、商売を営む人々の生活再建への貢献や、災害によって買い物が困難になった人々への支援など、多方面で役立てられています。

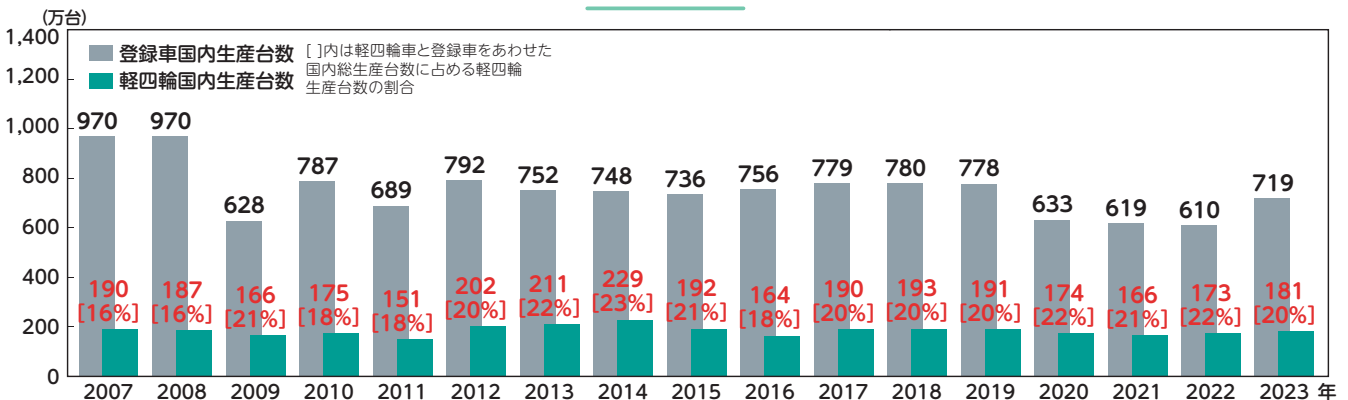
出典:環境省 災害廃棄物対策フォトチャンネル
(http://kouikishori.env.go.jp/photo_channel/r02_suigai/detail/?id=SR-06-02-005&rtp=search&p=5&od=asc)



軽自動車は国内の雇用に貢献

軽自動車はすべて日本国内で生産されており、国内生産台数の約2割に当たる200万台前後で推移しています。経済の好不況に左右されにくいと、軽自動車の生産は国内の雇用に安定的に下支えしていると言えます。
また、新車販売台数のうち約36%が軽自動車であり、製造関連だけでなく、裾野が広い販売・整備関連の雇用にも大きく貢献しています。

国内生産台数



軽自動車は海外でも活躍

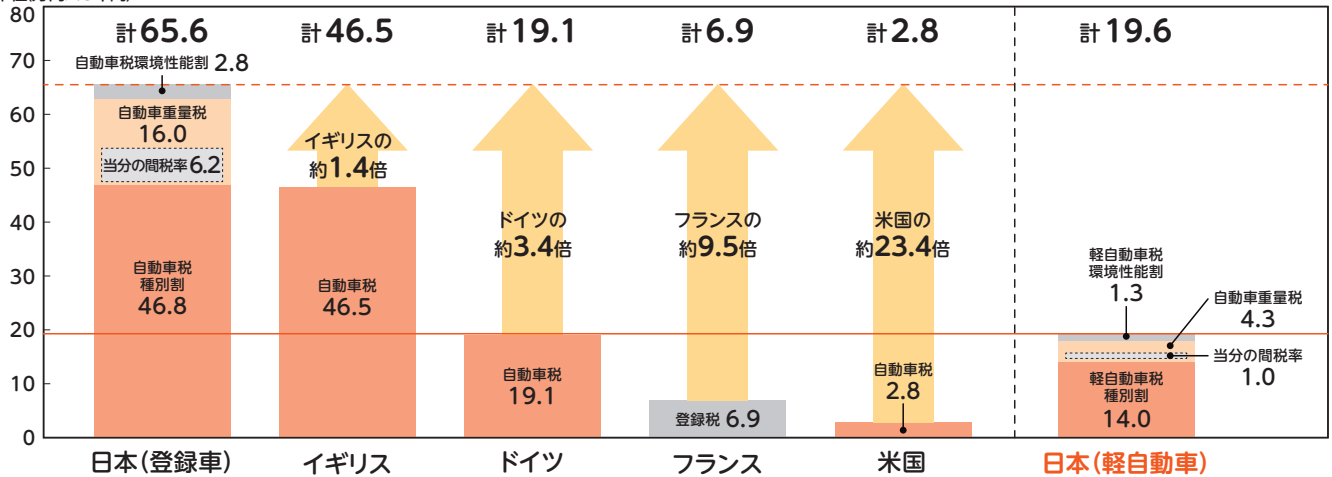
軽自動車の技術をベースとしたクルマはインド、インドネシア、パキスタン、マレーシアなどをはじめとするアジアの市場で大きな存在感を示しています。アジアなどの国々ではまだ高速道路が少なく、狭い道路が多いこと、燃費が良く価格の安いことなど、軽自動車の持つ本来の魅力や軽自動車です培った技術が、海外でもモータリゼーションの発展に大きく貢献しています。

軽自動車ユーザーの税負担が国際水準です。



税負担の国際比較

単位(万円/13年間)



前提条件:①排気量2000cc ②車両重量1.5t以下 ③WLTCモード燃費値 19.4km/L (CO₂排出量119g/km) ④車体価格308万円(軽は144万円) ⑤フランスはパリ、米国はニューヨーク市
 ⑥13年間使用(平均使用年数:自検協データより) ⑦為替レートは1€=¥158、1£=¥186、1\$=¥146(2023/4~2024/3の平均)
 ※2024年4月時点の税法系に基づく試算 ※日本のエコカー減税等の特例措置は考慮せず
 ※自動車固有の税金に加え、以下のとおり付加価値税等も課税される。(日本の場合は消費税、米国・ニューヨーク市の場合は小売売上税)
 日本(登録車)30.8万円、イギリス61.6万円、ドイツ58.5万円、フランス61.6万円、米国27.3万円、日本(軽自動車)14.4万円

資料:日本自動車工業会調べ

軽自動車は安全機能も充実しています。



詳しい情報は
JAMAブログを
ご確認ください



運転者による安全運転をサポートするための予防安全技術もますます充実。その一部をご紹介します。

※車種・グレードによっては搭載されていない機能があります。

人やクルマを検知して、ぶつからないようサポート



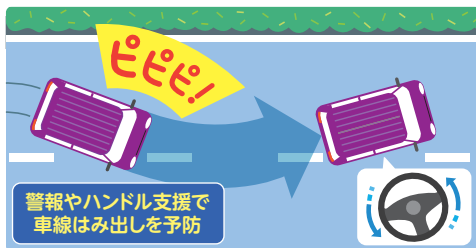
カメラやレーダーが前方の人やクルマを検知して、ぶつかりそうになると警告を発します。さらに衝突の危険があると判断した場合、被害軽減ブレーキをかけます。

前や後ろに急発進しないようにサポート



駐車や低速走行の状態ではブレーキと間違えて強くアクセルを踏み込んでしまった場合に、エンジンの出力を抑えて発進をゆるやかにする機能です。ブレーキとアクセルの踏み間違えによる事故の防止を目指しています。

車線をはみださないようサポート



高速走行時に車線からはみ出しそうになると警告を出します。さらに車線をもとに戻すようなハンドル操作支援をしてくれる車種もあります。

夜道のライト操作をサポート



カメラが先行車や対向車など周辺の明るさをキャッチし、自動的にハイビームとロービームを切り替えます。

各予防安全機能・運転支援機能は、ドライバーの運転支援を目的としているため、機能には限界があり、対象物・路面・天候等の状況によっては正常に作動しない場合があります。機能を過信せず、常に安全運転を心がけてください。詳しくは店頭又は各自動車メーカーのホームページをご確認ください。



発行

一般社団法人 日本自動車工業会 軽自動車委員会
 一般社団法人 全国軽自動車協会連合会

【参考】

本冊子では、原則として軽自動車を次のように分類しています。
 ・軽乗用系: 軽乗用車(軽キャブワゴンを含む)、軽ボンバン
 ・軽商用系: 軽キャブバン、軽トラック

【留意点】

調査結果は、端数四捨五入の関係で合計が100%にならない場合があります。